		婚	姻	盾	ā	受理第	;	年		号	H H	発 送	令和	年	月	В
		令和	年	月	日届出	五 N		+	-).	J 号			iii	川区	長	
		П	☑ 長 ₪	股	書類調查	入	IJ	戸籍記	記載	記載調金	E M	票	住民	票通	知	
				ŧ	€ 10	な	る	人			妻	に	な	る	人	
	(1)	(フリガナ 氏	2		氏		4	š			氏				名	
		生 年 月	Н	□昭和 □四	西暦	年	月		Н	口平原	I □西畑	ļ	年	·	月	В
所を定めた年月日 長 年 月 日		住 (住民登録をしいるところ 方書はアパー名: 第一名: 第一名: 第一名: 第二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十		□□府右 	丁目		番地番		号	□同左 	 7	一目		□ 番地	<u>h</u>	号
年 月 日 対和 年 月 日 前 時 分受領 □ 免 □ 旅 □ 住 □ マ □ その他	(3)	本 (外国人のとき 国籍だけを書 てください	籍	筆頭者の氏名	丁目		番地番			筆頭の氏	者	1月		□ 番비	<u>t</u>	
□無 □来庁せず □有 □無 □和 □要 □不要		父母及び養分 の 氏 4 父母との続き	納柄	父母				続	き 柄 男	父母					続	き柄女
□ 免 □ 旅 □ 住 □ マ □ その他 ()		右記の養父母以外 養父母がいる場合 その他の欄に書いてく	には	養父 養母				続養	き柄 子	養女養母					続 養	き 柄 女
□無□来庁せず□有□無□無□無□無□無□無□無□無□無□無□無□無□無□無□無□無□無□無□	(4)	婚姻後の夫婦 氏・新しいる		□ 夫の氏□ 妻の氏	:	鲁(左の✔	の氏の人	がすて	でに戸籍	手の筆頭	[者となっ 丁]		ときは言	#かない* □ 番』		V.)
□免□旅□住	(5)	同居を始め	た	□昭和 □4 □平成 □四		年		月		_ =	夫同居・	未挙元	t			
- □その他 □無	(6)	初婚・再婚の	別	□初婚	再婚(□] 死別] 離別	年	月	\exists	□ ¾	刃婚 再	婚([] 死別	年	月	н)
付	(7) (8)	同居を始める 夫婦のそれぞ 世帯のおもな仕 夫妻の職	れの 事と	夫 □1 妻 □1 (国勢調査 夫の職業	□2 Eの年…	□3 □]4 [<u></u> 5	□ 6 □ 6 翌年3月	31 🗆 i				□に √ を †書いてく		
		その他														
		届出人署 ※押印は任意		夫						妻						
] 夫・妻は筆頭者につき	新戸	籍編製せず □ 新々	水籍確 語	☑洛 □ 新本	締は街区符	一号によるも	o o					連絡先		連絡の をご記 ((

入の注意

- この届は、日曜日や祝日でも届けることができます。閉庁時間は宿直等で届書のお預かりと本人確認 のみ行います。翌開庁日以降審査し、不備の内容によってはご連絡のうえ修正のため再来庁いただく ことがあります。この場合も婚姻日は婚姻届提出の日から変わることはありません。
- 届書は、1通提出してください。

	証										
署 ※押印(ま任意`	名 です									
生年	月	Н	□昭和 □西	暦 年	月	Н	□ 昭和	□西曆	年	月	H
住		所	丁目		番地 番	뭉	oterado.	丁目		昏地 香	号
			方書				方書				
本		籍									
			丁目		番地 番			丁目	□ 1 □ 1	昏地 昏	

─◆「筆頭者の氏名」には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。

□には、あてはまるものに図のようにしるしをつけてください。 外国人と婚姻する人が、まだ戸籍の筆頭者となっていない場合には、新しい戸籍がつくられますので、希望する本籍を書い

結婚式をあげたとき、または、同居を始めたときのうち早いほうを書いてください。 未だ結婚式も同居もしていない場合は、□未同居・未挙式にチェックをしてください。

再婚のときは、直前の婚姻について書いてください。 ↑ 内線のものはふくまれません。

届け出られた事項は、人口動態調査(統計法に基づく基幹統計調査、厚生労働省所管)にも用いられます。

別表 (同居を始める前の夫婦のそれぞれの世帯のおもな仕事欄)

- 1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯
- 2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯
- 3. 企業・個人商店街(官公庁は除く)の常用勤労者世帯で勤め先の従業者数が 1人から99人までの世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5)
- 4. 3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世帯(日々または 1年未満の契約の雇用者は5)
- 5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯
- 6. 仕事をしている者のいない世帯

◎ 署名は必ず本人が自署してください。



